



令和7年(2025) 5月3日

57

復活祭ミサ カトリック前橋教会

私はクリスチャンではありませんが、これまで宗教曲を多数歌ってきたことや他人への思いやりの深いキリスト教文化に親しみと敬意を感じていました。そこで、復活祭※(復活の主日、イースター)のミサと1週間前の受難の主日(パームサンデー)のミサに、カトリック前橋教会で参加させていただきました。

※イエス・キリストがエルサレム神殿を頂点とするユダヤ教体制を批判したため、死刑の権限のないユダヤ人の指導者たちによって、その権限のある支配者ローマ帝国へ反逆者として渡され、公開処刑である十字架に磔となって処刑されたというもの。死んだイエスが三日目に復活したことを記念・記憶する、キリスト教においては最も重要とされる祭。キリスト教の教義においては、救い主であるイエス・キリストが人類をその罪から救うために、身代わりに磔になったものとされる。

「クリスチャンではありませんが参加させていただきますか」とたずねたところ、快諾いただいてミサに参加しました。



カトリック前橋教会



受難の主日(パームサンデー)のミサ

イエス・キリストがエルサレムに入ったとき民衆は「救い主が来た」と、ヤシの葉を振って「ホザンナ(万歳)」と叫んで大歓迎をしたというエピソードを再現して、ミサ参加者にヤシの葉が配られ「一年間持っているように」と言われました。

さてエルサレムに入ったイエス・キリストですが、民衆は自分たちの暮らしを良くしてくれるものだと思います。しかしイエス・キリストは政治家ではなく宗教家ですから暮らしを良くするのではなく「愛」を唱える人でした。民衆はがっかりし、それで十字架に磔^{はりつけ}の刑としました。受難の主日(パームサンデー)のミサでも、参加者は民衆の役を演じる形で「十字架につけろ」と叫ぶことを再現しました。

そして十字架につけられた三日後に復活したことを祝うのが復活祭(復活の主日、イースター)で、春分の日以降の最初の満月の次の日曜日に行われます。イースターを祝う際に、生命の始まり、復活の象徴として卵を装飾したり、配られたり、卵探しゲームが行われますが、前橋教会でもゆで卵が配られ、子供むけに卵探しゲームが行われておりました。



ご案内

ミサ(感謝の祭儀)は日曜日のほか、毎日行われ、外国籍の方のための英語によるミサもあります。クリスマス、復活祭などの他、大晦日、元日、七五三や新成人を祝福するミサ、カルメル祭(前橋教会の保護者であるカルメル山の聖母の祝祭)もあります。聖書やキリスト教についての勉強会もあり、どなたでも参加できます。信徒でない方の結婚式も行いますのでご相談ください。



カトリック前橋教会

〒371-0026 前橋市大手町2-14-6
<http://maecato.org/index.html>
 E-mail: mae-cato@pop17.odn.ne.jp
 tel 027-221-2746 fax 027-224-0968

沿革

- 1607 (慶長12)年 群馬にキリスト教が伝えられる(フランシスコ・ザビエル渡来約50年後)。
- 1880年代 (明治20年代) パリ外国宣教会ヴィグレース師、カジャック師が北関東を巡回司牧する。
- 1905 (明治38)年 聖堂建立のための敷地を現在地に購入。
- 1908 (明治41)年 同会ジロージャス師、前橋布教所に常在する。
- 1913 (大正 2)年 同会ドライエ師、現在地に旧聖堂を建立する。
- 1932 (昭和 7)年 内野作蔵師、現聖堂を建立。11月3日献堂式が挙行される。2つの尖塔が聳え立つ聖堂は前橋市の名物となる。
- 1939 (昭和14)年 司牧がフランシスコ会カナダ管区に移管される。戦局の激化に伴い、外国人司祭達は厳しい監視下に置かれ、保護收容される。
- 1945 (昭和20)年 8月5日の大空襲で前橋市内中心部は瓦礫(がれき)と化すが、聖堂は奇跡的に焼失を免れる。終戦後、ロック師、牧野房雄師らが、教会の活動を活性化させる。尖塔にアンジェラスの鐘が設置される。フランシスコ会日本管区に司牧が移管される。
- 1955 (昭和30)年 司祭館、信徒会館が建設される。
- 1982 (昭和57)年 献堂50周年を迎え、式典が行われる。
- 1993 (平成 5)年 集会所アレヤ館落成。
- 2001 (平成13)年 教会の活動が難民、生活困窮者支援など社会活動に広がる。信徒組織、活動も充実してくる。
- 同年、聖堂が国の有形文化財に登録される。
- 2012 (平成24)年 献堂80周年を迎える。



ミサの中で何曲も歌う場面があり、楽譜が用意されていたので歌える箇所を歌わせていただきました。

受難の主日 (枝の主日) C年

エルサレム入城
エセルウエルド司教宗礼典
大英博物館 十世紀末



主の名によつて来られる方、王に、祝福があるように。(ルカ19・38より)

聖書と典礼 2025.4.13

復活の主日

ペトロとその他の弟子は、外に出て墓へ行った。
二人は一緒に走った……
(ヨハネ20・3-4より)



復活の朝、墓へと走る使徒ペトロとヨハネ
ウジェーヌ・ビュルナン画
パリ オルセー美術館 1898年

聖書と典礼 2025.4.20

〔 齋藤茂樹の北関東巡り バックナンバー 〕

#1 鎌倉殿の13人	#21 第50回宇都宮市民合唱祭	#41 伊勢崎市の歴史／バレンタインデー
#2 紅葉の群馬県	#22 骨波田の藤と塙 保己一	#42 第51回宇都宮市民合唱祭
#3 栃木、埼玉の名所	#23 大室古墳群、鼻高展望花の丘	#43 古の音 スペイン黄金世紀のビウエラ歌曲
#4 栃木、群馬県庁	#24 桜とあじさい、紅葉の太平山	#44 池 大雅 ― 陽光の山水
#5 全国御守り特集	#25 ドン合唱団 歌い続けて65年	#45 富岡製糸場と絹産業遺跡群 田島弥平旧宅
#6 世良田東照宮・家康	#26 宇都宮市民芸術祭合唱フェス	#46 古代蓮と田んぼアート 埼玉県行田市・古代蓮の里
#7 栃木・益子の陶器	#27 第63回群馬県合唱コンクールを聴く	#47 SUBARU航空宇宙カンパニー
#8 奥の細道むすびの地	#28 お盆飾りを調べてみた	#48 秋の演奏会シーズン到来
#9 古鎌倉街道	#29 KTC混声合唱団を聴く	#49 銅山の歴史を語る日鉱記念館
#10 新田義貞・上毛かるた	#30 伊勢崎藩を守れ！天明浅間山大噴火	#50 上州神社巡拝 神玉巡り
#11 慈覚大師 円仁	#31 陶器・像形展から銀座・日本橋界隈を散策	#51 床もみじ リフレクション、床に映える世界
#12 バレンタインチョコ	#32 宇都宮芳賀ライトレール線開業	#52 日清製粉「製粉ミュージアム」、田中正造記念館など
#13 梅の名所 愛知・京都	#33 第14回男声合唱フェスティバルin宇都宮	#53 2024 年末に聴いたコンサート
#14 梅の名所 栃木・群馬	#34 コーア・リヒト 第5回演奏会	#54 冠稲荷神社&バレンタインチョコ
#15 早咲きの河津桜	#35 江戸城周辺散策	#55 関東三大梅林のひとつ 越生梅林
#16 シアトルの花見	#36 古巣の合唱団ノース・エコとボーイング	#56 宇都宮市民合唱祭・ドン合唱団「この街で」、航空…
#17 宇都宮市民合唱祭	#37 4泊5日の日光満喫旅行	
#18 桜の名所 愛知・兵庫	#38 日光で新たな発見！	
#19 群馬の桜と上毛かるた	#39 水戸バツハコレギウムを聴く	
#20 交通の要所・館林	#40 笠間焼 益子焼 かさまじこ	

Back

「齋藤茂樹の北関東巡り」TOPへ戻る

Home

「ホームページ」表紙へ戻る